

「脳活」啓発による健康長寿／認知症予防プロジェクト

健康で心豊かな毎日を

脳活新聞[®]

脳活新聞フェア企画書

2025.8更新



【日本の現状】

我が国の総人口（2024年9月15日現在推計）は、前年に比べ59万人減少している一方、**65歳以上の高齢者人口は、3625万人**と、前年（3623万人）に比べ2万人増加し、過去最多となりました。総人口に占める割合は29.3%と、前年（29.1%）に比べ0.2ポイント上昇し、過去最高となっています。年齢階級別にみると、70歳以上人口は2898万人（総人口の23.4%）で、前年に比べ9万人増（0.2ポイント上昇）となりました。また、いわゆる「団塊の世代」（1947年～1949年生まれ）を含む75歳以上人口は20761880万人（同16.8%）で、前年に比べ71万人増（0.7ポイント上昇）、80歳以上人口は1290万人（同10.4%）で31万人増（0.3ポイント上昇）となりました。

総人口に占める65歳以上人口の割合の推移をみると、1950年（4.9%）以降一貫して上昇が続いており、1985年に10%、2005年に20%を超え、**2024年は29.3%**と過去最高を更新しています。

国立社会保障・人口問題研究所の推計によると、この割合は今後も上昇を続け、第2次ベビーブーム期（1971年～1974年）に生まれた世代が65歳以上となる**2040年には34.8%、2045年には36.3%**になると見込まれています。（図1、表2）

図1 65歳以上人口及び割合の推移（1950年～2045年）

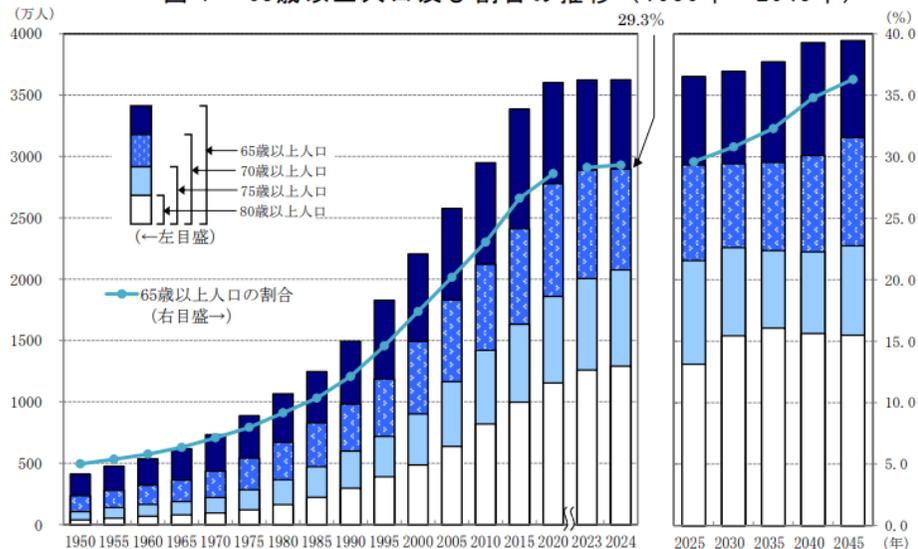


表2 65歳以上人口及び割合の推移（1950年～2045年）

年次	総人口 (万人)	65歳以上				総人口に占める割合 (%)			
		65歳以上	うち 70歳以上	うち 75歳以上	うち 80歳以上	65歳以上	うち 70歳以上	うち 75歳以上	うち 80歳以上
1950年	8320	411	234	106	37	4.9	2.8	1.3	0.4
1955	8928	475	278	139	51	5.3	3.1	1.6	0.6
1960	9342	535	319	163	67	5.7	3.4	1.7	0.7
1965	9827	618	362	187	78	6.3	3.7	1.9	0.8
1970	10372	733	435	221	95	7.1	4.2	2.1	0.9
1975	11194	887	542	284	120	7.9	4.8	2.5	1.1
1980	11706	1065	669	366	162	9.1	5.7	3.1	1.4
1985	12105	1247	828	471	222	10.3	6.8	3.9	1.8
1990	12361	1493	981	599	296	12.1	7.9	4.8	2.4
1995	12557	1828	1187	718	388	14.6	9.5	5.7	3.1
2000	12693	2204	1492	901	486	17.4	11.8	7.1	3.8
2005	12777	2576	1830	1164	636	20.2	14.3	9.1	5.0
2010	12806	2948	2121	1419	820	23.0	16.6	11.1	6.4
2015	12709	3387	2411	1632	997	26.6	19.0	12.8	7.8
2020	12615	3603	2779	1860	1154	28.6	22.0	14.7	9.1
2023	12435	3623	2889	2005	1259	29.1	23.2	16.1	10.1
2024	12376	3625	2898	2076	1290	29.3	23.4	16.8	10.4
2025	12326	3653	2934	2155	1313	29.6	23.8	17.5	10.6
2030	12012	3696	2944	2261	1544	30.8	24.5	18.8	12.9
2035	11664	3773	2955	2238	1607	32.3	25.3	19.2	13.8
2040	11284	3928	3009	2227	1562	34.8	26.7	19.7	13.8
2045	10880	3945	3157	2277	1548	36.3	29.0	20.9	14.2

出典：総務省統計局 (<https://www.stat.go.jp/data/topics/topi1420.html>)

【企画趣旨】

人々の平均寿命の延伸に伴い、「人生100年時代」が到来したと言われる現代日本。その中で、社会の持続可能性を維持し、また、個々が長く続く老後を健康的で自分らしく過ごすために、「健康寿命の延伸」への関心が高まっています。

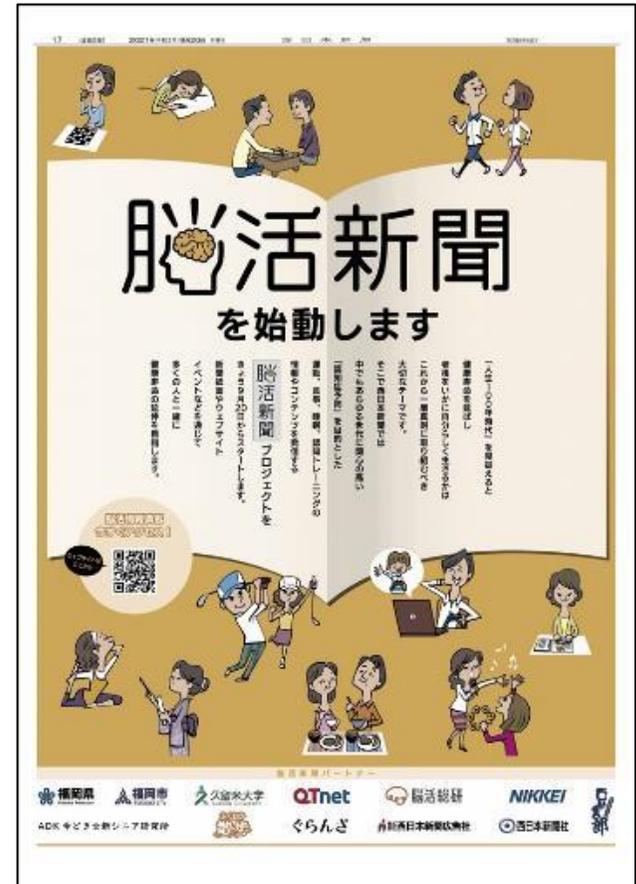
一方、2040年には全国における認知症の人数は約584万人、実に65歳以上の高齢者の約15%、6.7人に1人が認知症を患うと推計されています。

「**認知症予防**」は、安心して生活できる社会づくりのための重要な課題の一つであり、認知症に関する正しい知識や理解の一層の普及も必要です。

西日本新聞社では、賛同する行政や団体、企業とともに、「脳活新聞」プロジェクトに取り組み、運動、食事、睡眠、交流、脳トレなどの普及・啓発活動による健康寿命の延伸や認知症予防に取り組み、「**ウェルビーイング**」の実現を目指します。

生活者の健康づくりと安心して生活できる社会づくりに貢献することで、**持続可能な開発目標 (SDGs)** を支援していきたいと考えています。

脳活新聞は日本新聞協会【22年度新聞広告賞（新聞社企画・マーケティング部門）、24年度新聞経営賞】を受賞しました。



【2021年9月20日付け西日本新聞朝刊 掲載】

【紙面企画】西日本新聞朝刊別刷特集

- ◇特集名 「脳活新聞」別刷特集（2025年度）
- ◇媒体仕様 西日本新聞朝刊同配
タブロイド判16～28ページオールカラー
※協賛状況に応じて頁数は変更の可能性あり
- ◇発行地域 九州域内（鹿児島、宮崎を除く）
- ◇発行部数 約35万部
- ◇発行日（関連トピックス）
 - ①9月
 - ②3月
 ※発行日は予定で、変更になる場合がございます。
- ◇特集内容
 - ・脳活／健康情報、インタビュー記事など
 - ・脳活問題
(クロスワード、計算問題、隙間しりとり、間違い探しなど)
 - ・脳活関連情報／イベント告知他
 - ・プレゼント懸賞、WEBサイト紹介 など
- ◇広告料金

全4段カラー	1,000,000円（税別）
全広カラー	1,800,000円（税別）

【紙面イメージ（表紙）】



2022年3月27日付



2022年9月19日付



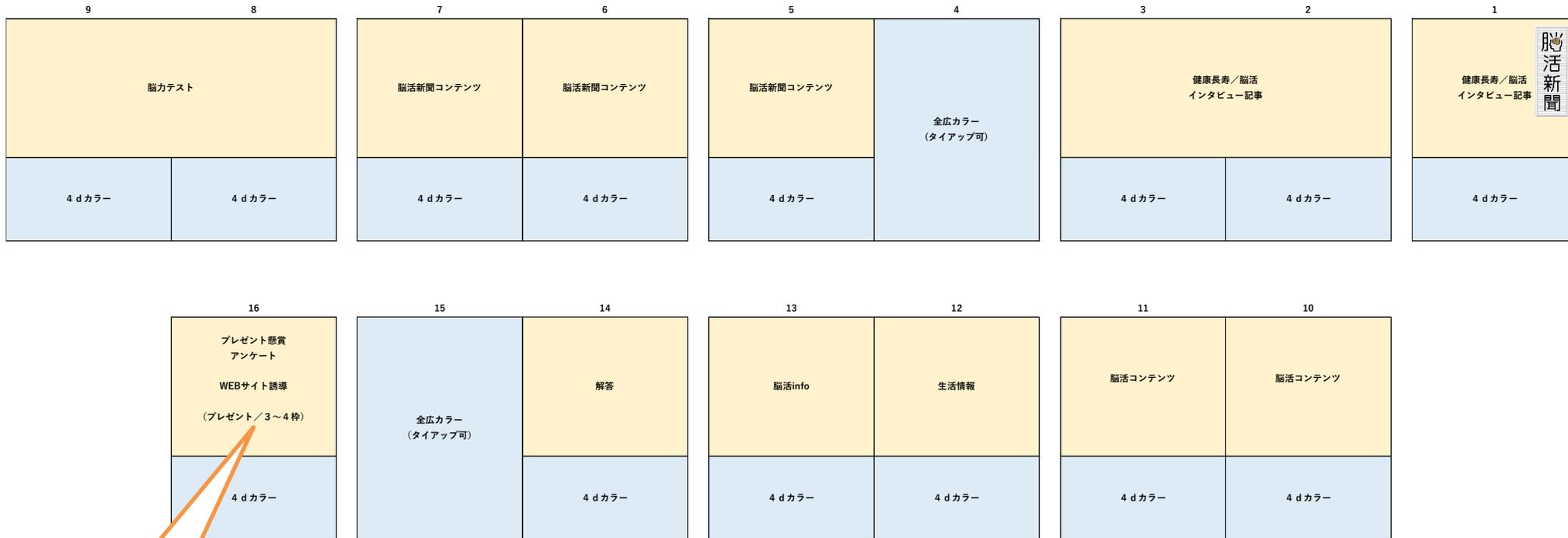
2023年3月12日付



2023年9月18日付

【紙面企画】西日本新聞朝刊別刷特集／基本紙面配置

脳活新聞／別刷特集（タブ16p） 紙面配置案（※右開き）



※協賛状況次第でページ数に変更になる場合がございます。
 ※プレゼントご提供によるパブ掲載もご相談ください。

毎回約1,300～
2,000件の応募
があります。

【イベント】脳活新聞フェア／実施概要

■イベント概要

タイトル／脳活新聞フェア

主催／脳活新聞（西日本新聞社）

後援／福岡県、福岡市、北九州市

日時／毎年9月、3月開催 10:00～16:00（予定）

会場／電気ビルみらいホール（福岡市中央区渡辺通2-1-82）

対象／シニアを中心とした健康に関心の高い読者層（実績534人来場）

内容(仮)／

①トークショー・ミニセミナー(各回200人定員予定)

「認知症予防」「ウォーキングと健康づくり」「食と健康づくり」「観光の魅力」等

②ブース展開（協賛社様、協力団体様など）

■ブース出展（予定）

最大20社（予定）

健康啓発・商品、サービスのPRの場としてご活用頂けます。

※物販や飲食も可能です。

■セミナーまたは講演（予定）

最大5コマ程度

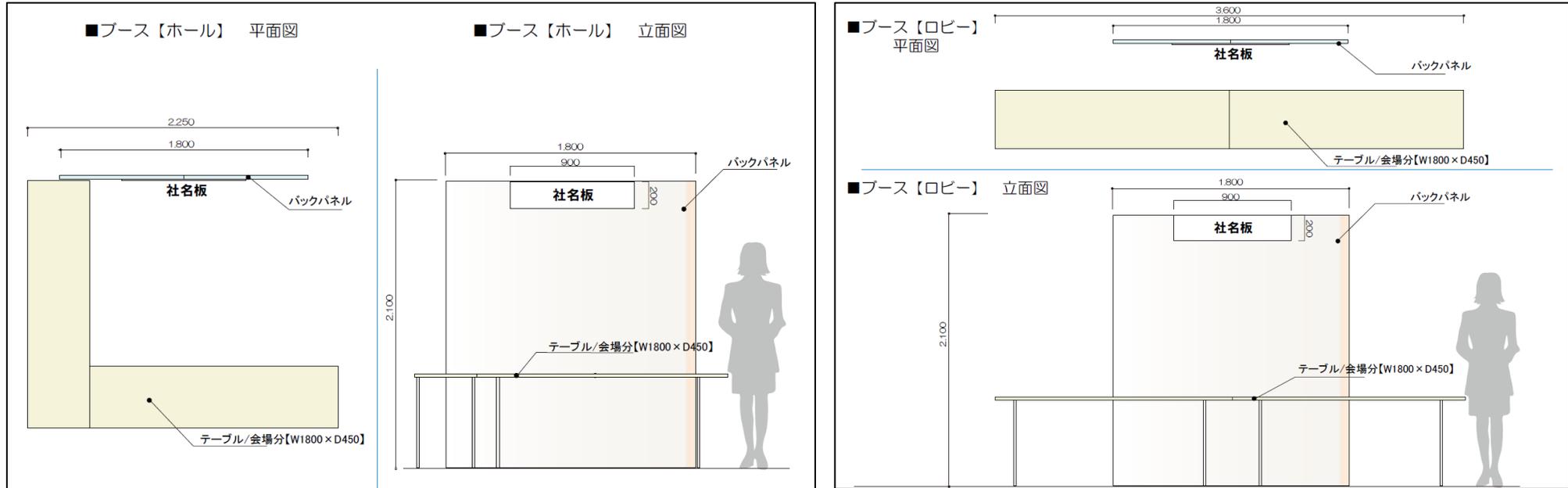
脳活、健康関連（食事、運動、その他）や健康増進に関わる商品など



会場の様子（第6回脳活新聞フェア）

【イベント】脳活新聞フェア/ブースイメージ

<ブース基本仕様>



- ▽小間サイズ
- 間口2,250×奥行約1,500×高さ2,100
- ▽サイン
- 社名サイン×1枚 (W900×H200)
- ※グラフィックデータ入稿
- ▽壁面
- バックパネル
- ▽展示台
- 2台 (W1800×D450×H700×2)

NEW ミニ シニアエキスポ (仮称)

第9回 脳活新聞フェア(2026年3月13日開催予定)では、「ミニ シニアエキスポ」を同時に開催します。

これからの **超** 高齢化社会を支える製品やサービスをTO B、TO C 向けで周知する体験型イベントを目指します。

【企画趣旨】

昨今の健康寿命の延伸によりシニア層の活躍の場は広がっています。それに伴ってシニア向けのサービス、製品の改革も急加速で進んでいます。ミニ シニアエキスポでは、シニアの生きがいを再設定するとともに、エイジズム(年齢差別)を克服し、より生活しやすい未来のための情報を集約する場を作ります。

歳を重ねることを「老化」や「終焉」と後ろ向きに考えず、さらに先の新たなチャンスと可能性に向かって進むためのきっかけに触れるイベントです。

【概 要】 ※予定

開催日 : 2026年3月13日(金)

開催場所 : 電気ビルみらいホール3F カンファレンスA (福岡市中央区渡辺通2-1-82)

主 催 : 脳活新聞 (西日本新聞社)

後 援 : 福岡県、福岡市、北九州市 (予定)

対 象 : To B…シニア向け商品・サービスを取り扱っている企業全般

To C…自分・家族の介護や将来について考えている人

ターゲット業界 ▶ 医療/金融/住宅/IT業界/介護事業/ウェルネス産業/レジャー (ほか)

入場料 : 無料

内 容 : 脳活新聞フェア同時開催。

企業向け、一般向けの2軸で開催します。シニア向けのサービス、介護・医療に関する最先端の情報を福岡に集結させます。



※画像はイメージです

【イベント】脳活新聞フェア／ご協賛プラン

下記プラン以外のご希望がございましたら弊社担当にお問合せください。

プラン	協賛金額 (税別)	メニュー				
		脳活新聞 広告11段カラー ※①	脳活新聞 広告4段カラー ※①	イベントでの ブース出展 ※②	イベントで セミナー ※③	イベントでの サンプリング ※④
プランS	2,500,000円	●	-	●	●	●
プランA	1,700,000円	-	●	●	●	●
プランB	1,400,000円	-	●	●	●	●
プランC	400,000円	-	-	●	●	●
プランD	300,000円	-	-	●	●	-
プランE	100,000円	-	-	-	-	●

※①脳活新聞（約35万部、宮崎鹿児島を除く九州で発行）での広告露出です。

※②9月、3月実施予定のイベントでのブース出展／1回です。

※③9月、3月実施予定のイベントでのセミナー実施／1回（40分で調整）です。

※④同イベントで貴社提供によるサンプルを封入し来場者にお渡します（サンプルは協賛社様一式封入で200～300個程度可能です）

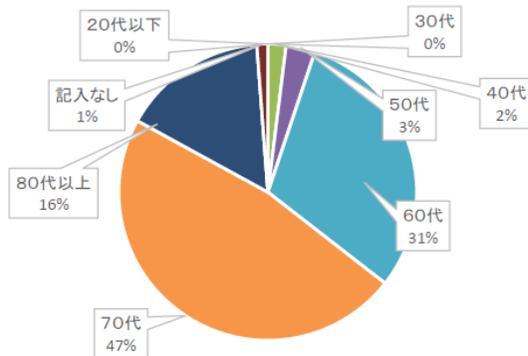
【イベント】脳活新聞フェア／過去アンケート結果

※一部抜粋

- 名称 第6回脳活新聞フェア
- 主催 脳活新聞（西日本新聞社）
- 後援 福岡県、福岡市、北九州市
- 日時 2024年9月20日（金）
開場9：45 開会10：00～16：00
- 会場 電気ビルみらいホール
（福岡市中央区渡辺通2-1-82）
- 来場者数 695人

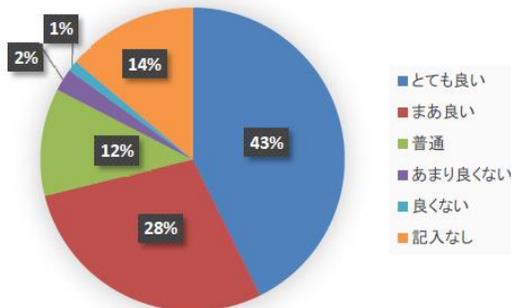
■来場者年齢比

20代以下	0
30代	0
40代	5
50代	8
60代	77
70代	120
80代以上	40
記入なし	3
	253



■来場者満足度

とても良い	108
まあ良い	72
普通	29
あまり良くない	6
良くない	3
記入なし	35
	253



■登壇者、出展ブース

講演・セミナー・表彰式

1 10:00～11:00
特別講演 「お経に学ぶ 前向きな生き方」
脳科学者 大谷 徹英氏

5 14:00～14:40
「『間違え探し』と『19×19暗算』で毎日脳活」
算数教室 講師 中村 智治氏 中村 結衣氏

2 11:20～12:00
「300年前の脳活・健康マニア～福岡藩学者 貞原益軒を知る～」
博多モノ語りライター 山下 大吉丸氏

6 15:00～15:40
「美味しく食べて、腸活・脳活」
FOOD&HEALTH協会 クルテ 代表理事 大部 正代氏

3 12:00～12:15
第4回脳活川柳表彰式

4 13:00～13:40
トーク 「目の機能“変化”は脳や身体にどのような影響を与えるのか?」
ViXion 代表取締役 CEO 南部 誠一郎氏 春田 雅俊氏

出展ブース(県不同)

- イダ靴下 ●SJR下大利
- 神埼市(佐賀県) ●グリーンコープ
- グリーンショップ
- FOOD&HEALTH協会 クルテ
- 森永乳業九州 ●豆吉郎 ●ムスベル
- 丸住製紙 ●ViXion ●ばあちゃん新聞
- SUNSEDAI ●生活の窓口 ●めくると
- 脳活新聞・ふくおが散歩 他

■参加者の感想（一部抜粋）

- ・生きる意味、生き方、心の在り様、深く考えさせられました。
- ・近頃イベントが少なかったのので。
- ・骨密度検査等、具体的に体験できて良かった。
- ・元気の良い大谷さん
- ・自分の毎日の参考にしたい。
- ・脳の衰えを予防する工夫を教えて貰い、それも実行できそうなことばかりの点
- ・気づかされることがあった。
- ・大谷先生のおすすめで、日めくりカレンダー3冊買い求めました。
- ・貞原益軒の話、新鮮でした！
- ・今を大切にしたい生き方、残すモノは何もないことを学んだ。
- ・自分を振り返り、健康寿命を考える時間が持てた。
- ・白内障や食事に関する疑問が大分解った。暗算方式は面白かった。
- ・元気が出ます。次回も。写真とかあって、知っている様で知らない。
- ・セミナーは全部良かったです。
- ・分かりやすい講話で、私も未来のことを少し考えて行動しようと思った。
- ・ためになった。
- ・第1部、第5部が良かった。
- ・講演の内容が全体的に良心的